参考資料・速報値

２０２５年6月１日

《チャイルドラインデータ資料》

2024年度・第４四半期

【集計データから、子どもたちの状況を読み解く】

特定非営利活動法人チャイルドライン支援センター

▶ 今期のテーマ「家庭」◀

▶ 2025年１月～３月のアクセス内容と分析 ◀

《第４四半期のテーマ「家庭」》

今回は「家庭」について調べました。チャイルドラインのデータベースにおいては「主訴」の項目に「家庭」があります。今回はやや幅広いカテゴリでもあるこのテーマで、子どもたちから聞こえてくる家族の状況を見ていきたいと思います。親子の関係から、虐待の問題まで、さまざまな状況が見て取れます。

《家庭》

◆「主訴・家庭」の年度別割合【電話・チャット】

2016年度から2025年度までの「主訴・家庭」（以下「家庭」）の割合を見ます。期間通して、大きな増減はなく推移していることがわかります。

割合としては10%を超えるぐらいで推移しており、この割合は2020年の「コロナ禍」も大きな変化はなく、最新の2024年度についても、10.8%となっていました。

またチャットに関するデータの年度別割合を見てみました。すると、一定の割合で推移していることは電話と変わりはないのですが、電話よりもチャットの方が、15%前後とやや高い割合になっていることがわかりました。

これについては、電話は主訴に「性」に関する割合が高くて、一方でチャットは同じ「性」に関する割合が低いことが一つの要因、ということが少なからず考えられます（後に比較グラフ）。

◆「家庭」の月別割合【電話・チャット】

各月の変化も見てみましょう。月別に見ても、７・８月、そして３・４月あたりで少し変化は見られるものの、大きな差はないことがわかります。また、過去８年と、直近１年の比較でも、大きな変化はありませんでした。

「希死念慮」や「不登校」などは、長期休み明け（GWや夏休みなど）前後の変化が大きいのですが、「家庭」に関することは１年中一定水準で推移していることが特徴といえます。

一方、チャットは、電話と比較してやや上下に幅があることがわかります。特に８月がやや上昇しており、５・６月はやや下降しています。理由は現時点では明確になっていませんが、特に８月の上昇は、チャット特有のアクセス環境（スマホなどで声を出さずにやりとりできるので場所を選ばなくていいなど）が、何らかの形で関係しているかもしれません。

◆月別の推移（2016年4月～2025年3月）【電話】

こちらは、2016年4月から2025年3月の月別通期の推移です。棒グラフになっているのが月ごとの「家庭の件数」で、折れ線グラフが月ごとの会話成立を分母とした「家庭の割合」を示していて、そこに「傾向線（直線での傾向）」を加えています。

件数を見ると、2016年と比較して最近は少なくなっているように見えますが、これは電話全体の件数の減少と同じ傾向なので、実際は割合で見ていく必要があります。そこで割合を見ると、年別と同じように、ほぼ同水準で推移していることがわかります。「家庭」に関する電話は、長い期間、「一定の割合であることが特徴」と言えます。

件数の多い時期は、2018年8月で696件（15.1%）で、次で2017年5月の577件（11.6%）、2018年3月の574件（12.6%）などとなっています。一方、割合の高い時期は、件数と同様、2018年8月で15.1%（696件）、次に2023年8月の14.3%（466件）、2019年8月の14.1%（600件）、2020年4月の13.1%（302件）と続きます。

上位３番目まで「8月」を占めますが、４番目の2020年4月が13.1%となっているのは、これはコロナ禍に伴う一斉休校の実施中だった時期です。

◆月別の推移（2016年4月～2025年3月）【チャット】

チャットはどうでしょう。チャットのグラフも比較しやすいように、あえて電話と同じスケールで出力していて、件数自体は大幅に少ないことがわかります。ただ、チャット全体の件数の傾向と同様、「家庭の件数」は徐々に増えています。さらに、割合については、2018年など前半は、分母が少なく上下幅がありますが、近年は件数が増加したことで大幅な上下移動が少なくなりつつあります。また期間を通して、電話と同様、一定割合を維持している状況です。

※年間365日別の変化グラフについては、大きな変化がなかったため、今回は省略しました。

◆曜日別割合【電話・チャット】

家庭の割合について、曜日傾向を見てみます。電話においては10%台後半が中心ですが、日曜日を中心とした週末にやや割合が高くなるようです。一方チャットは、少し変化が大きく、水曜～木曜にやや下がる一方で、土曜・日曜がやや上がる傾向にありました。どちらもさまざまな背景が考えられますが、一般的に「休日」で家族との関係が密になることで、アクセスする動機となっているかもしれません。

◆ 家庭の年齢割合【電話・チャット】

年齢割合を見ました。

家庭割合で見る「電話」は、中卒～18歳が53%と多く（小数点省略）、次に中学生22%、小学校高学年12%となっています。おおむね「会話成立」の割合と大きな違いはありません。

「チャット」は、中学生が38%と多く、ついで小学校高学年28%、中卒～18歳が27%でした。電話より割合構成が違うものの、会話成立と家庭項目では、同じ割合となりました。

◆家庭の性別割合【電話・チャット】

性別です。「電話」の割合ですと、会話成立と比較して、わずかに男子が高いもののおおむね半々で、一方「会話成立」は男子がやや高いので、変化があります。「チャット」の割合では、女子が８割強と多くを占めていて、これは「会話成立」との大きな違いはありませんでした。

◆家庭の平均通話時間（比較）【電話・チャット】

通話時間の比較です。「電話」においては「会話成立」が17分49秒なのに比べて、「家庭」は21分44秒と長くなる傾向でした。

これは、チャットでも同様の傾向で「家庭」は37分46秒と、電話よりもさらに長い時間です。

時間が長い背景はさまざま考えられますが、家族の関係性や出来事に関わることですから、それらの前提となる話（出来事や登場人物、経過など）を共有する時間が必要であることが、関係しているものと思われます。

◆家庭の関係性割合【電話・チャット】

「家庭の関係性割合」です。

「電話」の割合は、「実母」が一番多く46%で、次で「実父」16%、「きょうだい」13%と続きます。

「チャット」の割合は、「実母」が一番多く48%、「実父」が20%、「きょうだい」９%が続きます。

電話・チャットとも「会話成立」全体よりも、やはり母・父・きょうだいとの関係についてが多くの割合を占めていました。また「電話」においては、「祖母」「養母」も少なからずあることもわかりました。

今回は「家庭」を焦点に当てた集計ですから、関係性も家庭内の身近な関係が上位を占めることは自然なことかと思われます。

◆家庭の主訴割合とその内訳

ここでは、主訴である「家庭」が全体の何割なのか、その内訳について詳細を見ていきます。

「電話」は、全体の11%が「家庭」で、その内訳をみると「人間関係」が50%、「虐待」が28%でした。さらに詳細項目のある「虐待の内訳」は「性的」が39%で、「暴力の内訳」は「被害」が75%、でした。

「チャット」は、全体の15%が「家庭」で、その内訳をみると「人間関係」が54%、「虐待」が28%でした。さらに詳細項目のある「虐待の内訳」は「心理的」が39%で、「暴力の内訳」は「被害」が83%、でした。

電話・チャットとも傾向は似ていますが、チャットの「家庭」の方が電話よりも上位で３番目に割合が高いことが違いであること、また、細目の「虐待の内訳」が「心理的」が多いなど、細かな部分で違うことがわかります。

◆つながった動機割合【電話・チャット】

家庭項目の、つながった動機です。電話・チャットとも「話を聴いてほしい」が８割を占めています。電話の会話成立の割合とは若干の違いはあり、たとえば、「電話の会話成立」はお試しが少し多いですが、おおむね同じ傾向でした。

◆気持ち割合【電話・チャット】

「家庭の気持ち割合」です。

電話とチャットで、やや違いが見られました。

「電話の会話成立」は、「不安」「困惑・困っている」の割合が高いのに対して、「家庭」は「つらい・苦しい」「困惑・困っている」「イヤだ」の割合が高い傾向にあります。

「チャットの会話成立」は、「つらい・苦しい」「イヤだ」の割合が高く、同時に家庭も同じく割合が高いのですが、家庭の方がより割合が高く、また「不安」が家庭において増加していました。

電話とチャットでなぜ違いが出ているのかは、明確な結論は出ていませんが、一般的な傾向（チャイルドライン以外のオンライン相談も含めて）、チャットの方が、子ども自身の気持ち・心情がストレートに現れやすい、という指摘があり、したがってチャットは「つらい・苦しい」「イヤだ」といったキーワードが上位にきている可能性は考えられます。

◆まとめ

✓ 今回のテーマが主訴項目である「家庭」と大きなキーワードでしたので以前より多くのグラフを掲載しました。
✓ 主訴・家庭年度別割合：電話・チャットとも大きな増減なく推移。ただチャットの方が割合が高い。
✓ 月別の割合：電話は７・８・３月に少し変化だが大きな差なし。チャットは、５・６月にやや下降し、8月に上昇。
✓ 月別の推移：電話は、件数は少なくなっているが、割合で見るとほぼ同水準で推移（10%付近）し、一定の割合が続いていることが特徴。
チャットは、件数は電話に比べてかなり少ないが、増加傾向にはある。割合を見ると前半は分母の関係で上下幅が大きいが、近年では小さくなっていて、一定割合を維持している。
✓ 曜日別割合：電話は日曜日を中心にやや割合が高くなり、チャットは、水曜・木曜に割合が低くなる一方、土曜・日曜にやや上がる傾向。いずれも「休日と家族」が関係しているかもしれない。
✓ 年齢割合：電話は「中卒～18歳」（53%）が多く、チャットは「中学生」（38%）が多い。
✓ 性別割合：電話は女子（52%）がわずかに多いが、会話成立の男女比とは少し違いがある。チャットは、女子が多くを占めていて（84%）、男子がかなり少ない。会話成立との違いはなかった。
✓ 平均通話時間：電話は21分44秒、チャットは37分46秒でチャットの方が長かった。これは、そもそもチャット自体がやりとり時間が長いことに関係している。また会話成立との時間を比較すると、電話・チャット共に「家庭」のやりとりの時間の方が長かった。
✓ 関係性割合：電話・チャット通じて「実母」（電話46%、チャット48%）が一番多く、ついで、「実父」「きょうだい」が続いていた。会話成立の比較をしてもかなり割合の違いがあるが、主訴・家庭についてなので、家族における関係が増えることは自然なこと。
✓ 主訴割合とその内訳：電話・チャット共にそれぞれの内訳傾向は似ていた。ただ、チャットの家庭が電話よりも上位の３番目になっている。また細目でやや違いも見られた。
✓ つながった動機割合：電話・チャットとも「話を聞いてほしい」（電話81%、チャット82%）が多くを占めている。会話成立との比較でもおおむね同じ傾向だった。
✓ 気持ち割合：電話とチャットでかなり違いが見られた。電話では「つらい・苦しい」「困惑・困っている」「イヤだ」が多い一方、チャットでは「つらい・苦しい」「イヤだ」が多かった。一般的な傾向として、チャットの方が子ども自身の気持ちや心情がストレートに表現しやすいという指摘があることが関連している可能性がある。

これまでの分析ではかなり絞ったテーマ（希死念慮や不登校、虐待など）を取り上げていましたが、今回は主訴の項目にある「家庭」という大枠で集計と分析を行いました。また、あわせて「チャットのデータ」が蓄積されてきたことから、電話とチャットの比較もすることにしました。

電話・チャットとも、違いがある項目・ない項目が分かれているのは特徴的で、それぞれのツールの特性やアクセスする際の子どもの心理の違いなどを深堀することの意義が感じられます。特に「気持ち」や「通話時間」「性別」「年齢」の違いは、電話とチャットの特性が現れた結果といえるでしょうし、「関係性」「気持ち」「通話時間」は、家庭と会話成立全体との違いも見えてきました。

また、以前集計を行った「学校」に関する項目やテーマと比較しても、１年中一定の割合で声が寄せられていて、「家庭」に関する内容には、大きな季節変化がないことも特徴です。あたりまえのことですが「家庭」は１年中、近い関係であり生活に密接な関わりがあることから、それを「家庭ストレス」という視点でみると、一年中、ケアをし続ける必要のあるテーマなのではないかと思います。

今回は、基本的な集計・グラフを掲示しました。さらに詳細にわたる分析が必要だと思われますので、今後も継続したいと考えています。

◆子どもたちの声

※個人が特定されないようプライバシーに配慮して再構成しています。

※「主訴・家庭」には「虐待」の項目が含まれていますが、虐待をテーマにした集計は別の時期におこなったため、以下の事例は「虐待」以外のケースを中心にまとめました。

《電話》

❖ 家族と居ることがしんどい、父子家庭で父との関係が一番しんどい。感謝がないといわれる。父は寝るのも遅く、食事もあまりしていない。自分の存在がストレスなのかもしれない。父に言われて傷つく事も多い。

❖ 父は学歴コンプレックスを持っているのか、小さいころから勉強に厳しい。テストの点数が悪いと、近くにあるもので叩かれることがある。きょうだいたちは、父のことは好きなようで、叩かれたりすることを話すとショックを感じる様だ。

❖ 母に暴言で、よく怒鳴られる。先生や友人に相談するが、あまり話を聞いてもらえていない。先生、友人も信用できなくて、本音が言えない。よく、家出、自殺未遂をしている。シェルターに入りたい。

❖ 兄が大学生で、うつ病を発症している。家族は兄にいつも気を使っている。ストレスを感じると、親と喧嘩をするのでうるさい。自分はいろいろと兄からも両親からも理不尽にあつかわれていると思う。家にいても休まることがない。

❖ 離婚して父親が別のところに住んでいる。車の送り迎えで2人きりの時、仕事の愚痴を言った後何か言ってほしいのか、こっちを見るけど無視している。どういう対応がいいのか。聞いてあげる方がいいのか。でも聞いていると嫌な気持ちになる。

❖ お母さんと自分はお父さんから虐待を受けている。大学に落ちたのでニートになる。父はお金の話になるときれる。進路の話は全くできなかった。家で勉強しようとしても、夫婦喧嘩が始まるとすごい。止めに入らないといけない。勉強できる環境じゃない。

《チャット》

❖ 母親の機嫌が悪くなってビンタされました。痛かったから布団かぶってたら電気のリモコンを投げてきて、当たってたんこぶができました。いつも叩かれたりはしないけど、会社から帰ってきた時とか、機嫌が急に悪くなって痛いことされます。

❖ 母との関係がつらい。入学した高校に通えなくなって、その時にずるいとか、産まなきゃよかった、死にたいなら死んだら？と言われた。本音を言うと確かに私も死にたいけれど、死んだところで母はわかってくれないだろうなと思って今のところ死なずにいる。

❖ 進学先の学校の学費を自分で払えといつも言われている。お金が足りないって言うばかりで今の私の頑張りを認めてくれない。部活もバイトも頑張ってやってるのに、「頑張ったね」の一言が欲しい。結局は私が我慢してお金を稼ぐしかないんですけどね。

❖ 今年受験ですが、親にはこの高校いけと言われていて、でも私は点数的に行けません。この高校目指すと伝えるとどうせ無理と言われ、従わないといろいろ言われ、頑張ろうとすると否定され、もう無理。

❖ お父さんと血がつながってなくてケンカしたら何日もずっと話さない。本当のお父さんは優しかった。再婚するまでは週１回会ってたが、今は連絡先わからない。親権はお父さんにとってほしかった。

❖ 私が小学生になる前に、両親が離婚しました。隣県にお父さんが住んでいるので、一人で一度会いに行こうかと迷っています。前に住んでいた家もお父さんの記憶も4歳ぐらいだったので、全然なくて。どんな人か知りたいしお母さんに聞いたことはあるけど。

❖ 小さい頃から父親の酒癖のせいで辛い思いをしてる。酒を飲むと暴言を吐いたりキレるけど、次の日には全て忘れて、ずっとこれの繰り返し。家庭と学校のストレスで本当にしんどい。母親と相談してるけど、まだ今後学費などがかるので離婚は出来ません。

❖ 親に怒られて落ち込んだり、辛くなったりする。学校では居場所があるけど、家ではママもパパも怒るので悲しい。生後6か月の弟がいて、嫉妬したり寂しくなったりする。本当は弟が大好き。言い返せなくて、いっつも黙ってしまう。手紙を書いて渡したら、お父さんがつらい思いをさせたなと言ってくれた。

❖ 今日嬉しかったこと。ポスターをかいて入賞して賞をもらった！お母さんは忙しくて今日も夜遅くに帰ってくるので、早く言いたくてもじもじしていたので、チャイルドラインさんに聞いてもらえて嬉しいです。

❖ お母さんとお父さんが離婚しそうで凄く怖いです。お父さんは家に帰ってこず、お母さんが泣いているところも見ています。でも、お父さんも大好きです。お母さんがお父さんのイラつくところを聞くとき私もお父さん嫌い！と、思うのですが。離婚しないで欲しいなんて2人の前では言えなくてとても辛いです。

❖ 6年前から父親の暴力がある。学校は楽しいけれど家に帰る途中に死にたくなる。親は、いらないって言ってた。私なんていなくなればいいのにって。

《データ資料概要と注意点》

2024年4月～2025年3月のアクセス内容、データベースを集計し分析

チャイルドラインに寄せられた子どもたちの声にどのような傾向があるのか。チャイルドラインにおける”データベース”等を基に、集計しまとめました。データは基本「直近１年間」で掲載していますが、特に新たにデータ収集した、直近３ヶ月の状況について見ています。

・新たにデータ収集した期間：《2025年度・第４四半期》2025年1月～2025年3月（速報値）
・データ集計日：2025年5月20日

・集計数（分母）：

【トラヒックデータ】（電話とネットでんわの発信件数・チャット書き込み件数の合計・今回使用データのみ掲載）

	24年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	25年1月	2月	3月	合計
発信件数	28,710	29,269	32,481	34,064	32,553	37,219	32,136	31,424	25,368	27,361	24,379	28,160	363,124

【データベース】（入力件数・今回使用したデータのみ掲載）

	24年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	25年1月	2月	3月	合計
DB全体	13,497	14,216	14,412	15,031	14,881	16,910	16,764	16,567	13,683	13,360	12,953	14,244	176,518
会話成立	4,010	4,252	4,235	4,450	4,255	4,450	4,602	4,833	3,893	3,898	3,823	4,125	50,826

※（DB全体）は会話成立、会話不成立、無言、大人等を含んだ全体集計数　※他資料とはデータが異なる場合がある。

・表記の定義：　「%」＝上記項目の分母（集計した数）の割合
「件」＝データベースに入力されたアクセス・会話件数
「ポイント」＝パーセントポイント（他の%をポイントとして比較）

・データの種類：【トラヒックデータ】電話＝NTTコミュニケーションズ、
ネットでんわ＝独自開発プログラム、チャット＝AI.BiSから取得
【データベース】電話・チャット＝「受け手」が感じた内容を子どもが特定できないようプライバシーに配慮し、データベースとして集積

・データの性質：「速報値」である。そのためデータの誤入力や重複、未入力データがある等、今後、修正が生じる可能性がある

・データの注意点：各データの小数点をまとめる際に集計上の誤差が生じるため、グラフのデータと他のグラフデータに数字の違いが生じる場合がある

・<u>報道関係の皆様へ</u>：この資料でのデータは速報値で、今後、集計結果が変わる可能性があります。データ・資料について取材、引用の際は、チャイルドライン支援センター（連絡先最終ページ）までご一報ください。

《トラヒックデータ／発信数・着信数》

トラヒックデータの発信数・着信数（電話とチャット）の、最近の３ヶ月は、着信率は1月のみやや下がったが、10月以降、それまでより上回っている。件数の推移を見てみると、10月、11月までは大きな変化は見られないが、12月に発信数（主に電話）が減っていて、それが3月まで継続している。

《データベース・年齢（会話成立）》

ここからはデータベースの「会話成立」（電話とチャット・以降のデータも同様）に絞ったデータを紹介する。まず「年齢」別の集計から。

1年間の月別推移の割合は、この３ヶ月も中卒～18歳が高かった（約5割）。

《データベース・性別（会話成立）》

データベースの「会話成立」の中の「性別」を1年間の月別推移で集計した。男女ともに割合に大きな変化はない。

《データベース・主訴［大項目］（会話成立）》

データベースの「会話成立」の中の「主訴［大項目］」を1年間の月別推移で集計した。この３ヶ月は、12月からの「自分割合の増加」が継続していた。

《データベース・動機（会話成立）》

データベースの「会話成立」の中の「動機」を1年間の月別推移で集計した。わずかな変化はあるものの、全体として「話を聴いてほしい」が大きく割合を占めている。

《データベース・気持ち（会話成立）》

データベースの「会話成立」の中の「気持ち」を1年間の月別推移で集計した。最近の３ヶ月は多少の変化が見られるが、大きな変化はなかった。

《データベース・関係性（会話成立）》

データベースの「会話成立」の中の「関係性」を1年間の月別推移で集計した。全体として「自分自身のこと」の割合が多い。月別では、8月と同様、１月に「自分自身のこと」が増え「友人・知人」が相対的に減ったが、大きな変化はなかった。

《データベース・「希死念慮」（会話成立）》

データベースの「会話成立」のうち、「主訴・希死念慮」と「背景・希死念慮」の件数をそれぞれ１年間の月別推移で集計した。集計数が少ないので参考値ではあるが、主訴・希死念慮は12月については208件と大幅に増えているが、これはチャットにおいて複数回アクセスしていると思われるケースが考えられるので、前後の推移を見る必要がある。

《「つぶやく」に寄せられた声の傾向》

こちらは、ウェブページ上の「つぶやく」に寄せられた声を集計した（属性などは自己申告・記入）。
件数は、７～９月に増加していたが、その後は落ち着いてきている。つぶやいた内容のジャンルは、順に「学校のこと」「自分のこと」「家族のこと」「友だちのこと」などとなっている。

＜つぶやかれた内容＞（投稿者が「公開してもよい」を選択したもの。個人がわからない形で一部編集の上掲載）

＜つぶやく＞

- ✤ 親が過保護で自分を見失いそうになる　　親には抵抗できない
- ✤ 自分が何か選ぶと、母が「◯◯にしなくていいの？」と聞いてくる。正直うざい。お節介？
- ✤ 親が嫌い。暴力を振るってくるわけではない。「くそ」といってきたり。
少し前に、両親どちらともから「死ね」と言われたこともあったっけなあ。それは今でも覚えてる。それに対して、学校の友達の親は優しくて、子供思いで。すごくいい親だった。私の親って普通じゃないのかな。自分の親が普通じゃないってことを考えると、悲しくなって涙が出てくる。

【この資料に関する問い合わせ】

制作・著作：特定非営利活動法人チャイルドライン支援センター

〒162－0808 東京都新宿区天神町14 神楽坂藤井ビル5F

メール：info@childline.or.jp　電話：03-5946-8500
ウェブサイト：https://childline.or.jp/